

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	井後 幸太郎	会員番号:	8870	事務局整理記入欄	北海道 - 228
分水嶺区分:	P260~P454:H188とH187の間	(3) 山行日:	2006年	3月	27日	(4) 天候:	晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

参加者氏名および会員番号			サポート要員氏名および会員番号		
井後 幸太郎	8870		畠山 迪子	12850	
上島 忠義	10306				
西野 數之	11515				
計			計		
3名			1名		

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	P260~トワルタップコップ岳東H188 407.1~P319~P454												
アプローチ:	札幌~今金町~中里 ; 八雲町黒岩~札幌												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大志文内橋	ルコツ岳	140	8	2.74	42	23	29.27	54		6:00		(8), (9), (10)
分水嶺到達点	P260	ルコツ岳	140	11	53.15	42	22	56.30	260	8:50		B-4	(8), (9), (10)
	P370	ルコツ岳	140	12	21.72	42	23	14.68	370	9:10		B-4	(8), (9)
	P319	ルコツ岳	140	13	12.63	42	23	35.10	319	9:40		B-4	(8), (9)
分水嶺離別点	P454	ルコツ岳	140	13	49.52	42	23	41.85	454	10:35	10:45	B-4	(8), (9)
歩行終了点	黒岩駐車場	黒岩	140	17	9.11	42	21	30.95	10	11:55			(8)
総歩行時間(休憩時間を除く):												5時間45分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

トワルタップコップ岳北のボンシブナイ川沿いと南側に林道がある。

(9) 水および植生に関連した特記事項

トワルタップコップ岳北にはボンシブナイ川、南にはトワルベツ川の上流部がある。

(10) その他の特記事項

主脈までのアプローチ(約7km)の短縮のため、今金町のスノーモビルクラブ(ホクト)の協力を得て無名の林道(地形図標記なし)を1名1台に便乗。結果トワルタップコップ岳を巻いて主稜に乗ることとなった。
454m峰からは内浦湾が光り輝いて荘厳な眺めとなった。
ルコツ川渡渉地点までは、先々週の偵察の尾根を素晴らしい雪質に恵まれ、豪快な滑降を楽しんだ。
ルコツ川右岸の台地は予想に反して追い風に恵まれスキーが滑り、意外に早く最終人家までたどり着き、サポートの畠山さんの車を待つほどであった。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: